

マスク設置に規制がかけられた池袋運輸区分会へ マスクの差し入れ激励行動を行いました！



コロナウイルス感染症は拡大の第3波の真ただ中にあり、未だに終息の気配がありません。この間、感染拡大を防止するために会社からも注意喚起が出され、各自がマスク着用など感染防止に努めています。そのような中、池袋運輸区では「マスクの配布終了」と一方的に掲示が出されました。エッセンシャルワーカーとして、日々感染のリスクにさらされて業務を行っている為、労働者代表（社員代表）が代わりに社員の為にマスクを置いたところ、今度は「職場に物を置く場合は会社の許可を取らなければならない。就業規則で決まっていますので、持ち帰ってほしい」と、耳を疑うような規制がされています。コロナウイルス感染症の拡大防止は国として全力で取り組んでいる事で、会社が責任を持って取り組むべきことです。それを社員代表がマスクを置くことで何の問題も発生していないのに、はっきりした理由もなく規制することは、世間の常識から外れています。会社は社員の命をどう考えているのでしょうか？

松戸支部では共にコロナ禍で働く仲間の為にマスクの差し入れを行い、連帯の激励を行ってきました。

**就業規則では社員の「いのち」は守れない！
会社は責任を持って安心して働ける環境を整えるべきだ！！**